

全校集会 校長の話（2025 年 4 月 15 日）

- 皆さん、おはようございます。認証式が終わりましたが、まずは、委員に立候補してくれた皆さん、ありがとうございます。そして、係に立候補した皆さんも、クラスのために力を発揮してくれることを期待しています。
- 私たちは集団で生活をする上で、それぞれに役割があると、とても生活しやすくなります。たとえば、もし無人島に二人だけで暮らすことになったとしても、「君は寝る場所を作って、僕は魚をとってくる」というように、自然と役割分担が生まれるはずです。そんなふうに、一人ひとりがそれぞれの役割を果たすことで、みんなが気持ちよく生活できる場が生まれます。クラスや学校全体でも、同じことが言えます。どうか、自分に与えられた役割をしっかりと担いつつ、周りの人と協力しながら、よりよい学校生活をつくり上げていってください
- さて、きょうは北稜中学校が、こういう風になってほしいという話をします。私が今日、皆さんにぜひ心に留めてほしいことは「明日も来なくなる学校を作りましょう」ということです。誰が来なくなるのかと言えば、それはもちろん北稜中学校に集う全ての人です。生徒の皆さんはもちろん、私たち教職員、そして学校に足を運んでくださるお客さまを含めたみんなで、この学校を「明日も来たい」と思える場所にしていきたいのです。
- そのために、皆さんに心がけてほしいことを二つお伝えします。一つめは、「人と人の温かいぬくもりを大切にして、人間関係をつくってほしい」ということです。学校は、さまざまな人が集まる場所です。そんな場所だからこそ、お互いを思いやり、相手の気持ちに寄り添うことが何より大切です。その気持ちは、毎日のちょっとした挨拶や「ありがとう」、「ごめんなさい」の一言に表れます。小さなことかもしれませんが、その積み重ねが、信頼し合える温かな人間関係をつくってくれるのです。
- 二つめは、「生き抜く」ことよりも「生き合う」ことを大切にしてほしい、という願いです。今の世の中は、競争が激しく、ついつい自分のことばかり考えてしまうこともあるかもしれません。でも、誰かを蹴落として得た成功や幸せは決して長続きしません。それよりも、仲間と助け合い、支え合うことで、自分も相手も共に成長し、より豊かな人生を歩むことができます。仲間と協力して得た経験は、きっとみなさんの未来を支える大切な財産になります。
- この二つのことを胸に刻み、温かな人間関係を築きながら、互いに支え合い「生き合う」力を育んでいきましょう。私たち先生も、みなさんが安心して過ごせるよう、全力でサポートします。一緒に素晴らしい学校生活をつくっていきましょう。